

令和3年度 大阪府地域職域連携推進協議会

- 審議期間：令和4年3月10日～令和4年3月25日（書面開催）
- 委員：浅田委員、磯委員、乾委員、猪野委員、井上委員、川井委員、川隅委員、小村委員、澤井委員、高橋委員、龍沢委員、出口委員、寺島委員、道明委員、中村委員、藤原委員、細井委員、本庄委員、宮代委員、森委員、森垣委員、山本委員
22名（50音順）

議題（1） 会長選出について

磯委員を会長に選出し、承認

議題（2） 「第3次大阪府健康増進計画」中間点検・見直し結果について

原案のとおり承認

【委員の意見】

- ・ きめ細やかで多種多様な施策を実施していることに敬意を表す。地域や企業が幅広く健康づくりに参画するようになっている点も高く評価したい。
一方、栄養の数値が悪化し、歩数が伸び悩んでいるほか、高血圧の未治療者が増えているなど、コロナの影響で在宅生活が増え、運動量が減少したり、また、数値が悪化していないものの受診や健診控えが起きているのではないかと、うかがわせるデータも出ているように思う。地域の集まりなどに参加する者の割合（24.1%→16.4%）もコロナの影響が大きいと思われる。後半に向けた取組み②に、with コロナの対策が記されているので、見直し自体はよいが、健康増進どころか健康悪化の懸念があり、コロナをにらんだ本格的な対策・計画を作る必要がある。
- ・ 評価がDのところは検討が必要ではないか。
- ・ 糖尿病性腎症による新規透析導入患者が増加してしまっている。生活習慣による疾病に係る未治療者も高血圧、糖尿病が増えてしまっている点が懸念される。

議題（3） 「第3次大阪府健康増進計画」令和3年度の進捗状況について

原案のとおり承認

【委員の意見】

- ・ 健康増進計画の各取組みの数値目標・進捗の状況を見た時に、大阪府の立ち位置は必ずしも好ましい状況にない中、項目3の府民の健康づくりを支える社会環境整備の26に関して、健康経営優良法人の認定は全国トップであり、PRも必要。

- ・各種施策は概ね予定通り進んでいると思う。

計画と直接関わりがあるわけではないが、新型コロナ対策で保健所業務が逼迫するなか、こうした健康づくりの業務も大切で、保健所の業務の総量に対して、マンパワーの振り分けがどうなっているかが気になる。予算に一定額が計上されてはいるが、コロナ対策がさらに当面続くことを前提に、健康づくりについても、コロナ対応についても、態勢を強化しつつ、適切な範囲で外部化するなどの抜本的な検討が、施策の土台にあるとよいと思う。

- ・重症化予防の今後の取組みとして、未受診者、治療中断者への受診勧奨体制を再考してもらいたい。例えば、受診クーポンを送付する（医師会との連携）他、「受診しなければ損をする」と感じさせるようなナッジがいいと思う。